

こどもけりなあと？

第3号 2022年9月

武蔵野市では、「子どもの権利条約」に基づき、市を子どもにやさしいまちにしていくことをめざして子どもの権利についての条例をつくる準備を進めています。

今回は、中高生世代ワークショップ「Teensムサカツ」の第1回、第2回実行委員会の取り組みの様子について紹介していきます。



中高生世代ワークショップ「Teensムサカツ」とは？

中高生世代ワークショップ「Teensムサカツ」は、将来を担う中高生世代がまちや地域活動などに関心を持ち、市の取り組みに関する理解を深めたり、今後のまちづくりについて提言を行うことを目指すワークショップです。

今年度のテーマは「子どもの権利に関する条例」です。

令和5年3月29日(水)に実施予定のワークショップ本番に向けて、34名の実行委員が集まり、様々な企画や運営を行っています。

第1回

令和4年6月12日(日)に第1回実行委員会がありました。30名のメンバーが参加しました。

武蔵野市で実施した「子どもの権利に関する条例検討委員会 中間報告」に関するパブリックコメント(意見募集)の時期でしたので、「中間報告」の内容について、分かりやすく示した「こどものけりなあと？」第1号を見て、5つのグループに分かれて意見交換をしました。

どんな項目が気になったのか、大切だと思ったかなどについて、意見の一部をご紹介します！

論 点

(条例で大事にしたいこと)

子どもたちの安心が大切。そのために人とつながること、他人との関わりが必要。

子どもにとって大切な子どもの権利

- 遊ぶことは大切。楽しいことに向き合うことで社会に出て集中力を養うことができる。
- 大人が考える子どもの権利ではなく、子ども自身が考える権利について知りたい。
- 安心する環境は周りの人と協力して自分らしくいられる居場所を作り出していくべきでないか。
- 子どもが悩みや考えを相談できる環境が重要。
- 子どもがつらいとき休むことも大切だが、学校自体が環境を変える対策も重要。
- 「先生に言われている」感じの授業ではなく、自分から学ぶ教育に形式を変える。
- 基本的な権利だからこそ、当たり前のようにみえる権利が守られているか見直すべき。

おとなになるための支援

- 子どものころに支援を受けられたかで大きく人生は変わる。教育はもちろん、大人になるための支援は大切。
- 大人になるまでにお金がかかる。低所得世帯への支援を用意したり、わかりやすい制度にする。

すべての子への支援

- 個性に合わせた支援が必要。具体的にどのような支援があるのか気になった。



子どもの安心・安全

- ・ 安心して生きることは自分らしく生きるうえで必要。
- ・ 遊具などの注意書きをひらがなにする。
- ・ 差別について、はっきり書いたほうがいい。

子どもが意見を表したり参加したりすること

- ・ 大人ではなく未来を担う子どもの意見を反映してほしい。子どもが話し合える機会が必要。
- ・ 意見を表したり参加したりできる「子ども」は何歳から？
- ・ 意見の伝え方を小さいころから教育として教わることも必要。
- ・ 子どもが意見を発信するには、ムサカツやアンケート、学校での話し合いを活用すべき。
- ・ 子どもの意見が市政にどう活かされているか明確にわかるとよい。

子どもの相談

- ・ 悩みは早めに相談したほうがいいけど不安。
- ・ 市の相談窓口は堅苦しいイメージがある。もっと気軽に相談できる場がほしい。
- ・ 相談されたことは秘密にしてほしい。どこまで秘密を守ってくれるのか、明らかにしてほしい。
- ・ 身近な相談員とは具体的にどのような人なのか。

グループで出た意見を発表中！
色々な視点から出されたたくさん意見は
検討委員会に伝え、参考にしてもらいました。



子どもの権利を知ること

- ・ 子どもの権利を知らないと子どもの権利侵害に気づかない。知ることが大切。
- ・ 学校で子どもの権利を学べる機会をつくる。
- ・ 大人も子どもの権利を知ることが大切。市民の目に触れるように周知が必要。
- ・ 大人の理解により現状理解や改善案がより多く出て客観的に物事が見られるようになる。
- ・ ありのままの自分を相手に伝えることができ、自信を持ち、成長していくうえで大切である。

子どもの居場所

- ・ ひとりひとりの状況を知って改善するのが大切。どのような形で居場所を作るのか気になった。
- ・ 楽しめる、相談できるだけでなく、精神的に休む場所や悪い雰囲気改善も大切。
- ・ 家に自分の居場所がない子どももいる。もっと勉強や遊びができる居場所を増やしたほうがいい。



いじめを止めること

- ・ 安心して生活する上で大切。
- ・ 相談のときは、「秘密を守ること」が大切。いじめのアンケートを匿名にすべき。
- ・ 気軽に話せる相談先がほしい。
- ・ 精神的な拠り所がいくつかあると安心。先生の対応がいじめを止める鍵になる。
- ・ いじめを止めるというより、そもそもいじめをなくすことを考えてほしい。
- ・ いじめとじゃれ合いの境界について考えるべき。いじめに関する教育をしっかりしてほしい。
- ・ 解決するための仕組みを整えることがとても大切。
- ・ いじめの何がいけないのかきちんと理解できていない人もいると思うため、自分事として考えられる取り組みや、市と学校と家庭が協力する必要がある。
- ・ いじめた側のメンタルケアも必要。



第2回

前文って？

条例の基本的な考え方や
メッセージを表す
部分のことです

8月4日(木)に第2回実行委員会がありました。16名のメンバーが参加しました。子どもの権利に関する条例(仮称)の「前文」についてムサカツ実行委員が中心となり、考えることとなりました。

今回は検討の第一弾として、前文に盛り込みたい「大切な要素」をグループで考えました。

「Teensムサカツ 2022春」での中高生世代の意見や、第2号で紹介したパブリックコメントでの子どもみなさんの意見も参考としています。実行委員会後、有志メンバーが各グループで出た意見をカテゴリ別に整理してくれたので、「大切な要素」として出た意見の一部を紹介します！

子どもの権利の尊重

◆子どもの意見の尊重

(理由)子どもは大人と対等であり、子どもの個性や意見を尊重されるべきである。

◆子ども中心

(理由)大人が思っていることでなく、子どもが必要としていることを子ども中心に考えてほしい。

◆子どもの決定権

(理由)自分のことは自分に決めるなど、子どもが自由に決めるべき。



条例としての考え方の基礎

◆子どもの権利条約に基づく考え方

(理由)子どもの権利条約の「4つの権利(生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利)」など、子どもの権利に関する基本的な考え方を示すべき。

◆1人では生きられないこと

(理由)人生を考えるうえで大切な基礎だから。



安心、安全に生きる

◆安全に生きる

(理由)安全が確保されていることは、他のことの実現や心身の健康にも大事なことです。

条例ができたあとの最終目標

◆理想の社会像や将来への願いを明記

(理由)「条例＝まちの姿」であるため、「まちの将来像がどうあってほしいか」や「まちとして何を大切にしていくなのか等」を明記することで、将来へのメッセージ性が感じられるものになるのではないか。

◆子どもの願い

(理由)子どもの「願い」のような、子どもの権利を考えると根底となるものが必要でないか。

大人の行動

◆大人が何をすべきか

(理由)大人へのメッセージを書くべき。

◆いじめを止める

(理由)いじめは市全体として解決し、なくしていかなくてははいけない。

◆教育

(理由)将来のために教育を受けることは重要なことで、教育現場では相談しやすい環境が求められる。

◆大人の支援

(理由)子どもたちはまだできないこともあるので大人たちによる支援が必要不可欠。

最終目標を達成するための考え方や方法

- ◆ 目標達成に向けた考え方
(理由)子どもが持つ可能性や自分らしくありたいという当事者の願いを重視すべき
- ◆ 目標達成のための方法
(理由)この条例を活かしてほしい、意識してほしいという子どもの願いを反映すべき。



その他～前文に盛り込むべき視点など～

- ◆ 簡潔に書く(誰でもわかりやすい文章)
- ◆ 具体的に書く
- ◆ 子ども、大人、社会のそれぞれの視点(役割など)
- ◆ 国や世界に関する視点
- ◆ ポジティブな内容
- ◆ 子どもの声

第3回実行委員会では、これらの意見をもとに、Teensムサカツとしての前文の案を作ります！

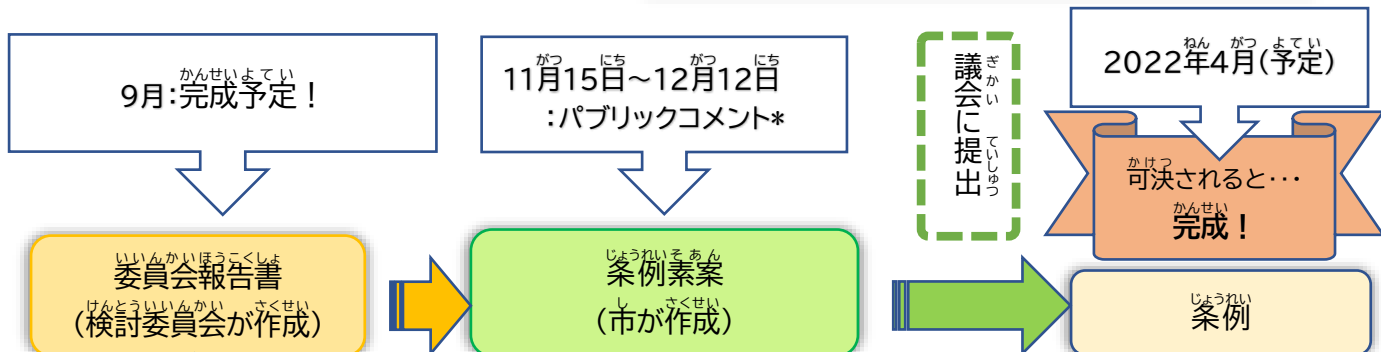
第1回・第2回ともに、子どもの権利に関する条例の検討内容に関する意見交換を行いました。

「条例が単なる理念で終わらず、具体的に活かしてほしい」という声が多くありました。

第3回以降もTeensムサカツ実行委員会では、子どもの権利に関する意見交換を中心とした様々な取り組みを行っています！Teensムサカツの様子は引き続き、「こどものけんりってなあに？」で紹介します。

今後の条例検討スケジュール

現在、委員会報告書が完成間近！
今後は、市が条例素案(条例の案)を作りますので、また皆さんのご意見をお聞かせください。



Teensムサカツ 2022春の意見交換

令和4年度Teensムサカツ実行委員会の意見交換

パブリックコメント*など

*パブリックコメント
意見募集のこと

令和4年度Teensムサカツ実行委員会の意見交換

パブリックコメント*など

今後の「こどものけんりってなあに？」でご案内しますので皆さんのご意見を聞かせてください！

Teensムサカツで考える前文案は条例素案に反映予定！
【今後のTeensムサカツ 予定】
第3回:10月2日(日)
第4回:12月11日(日)
第5回:2月12日(日)
第6回:3月19日(日)
本番 :3月29日(水)

今までの「こどものけんりってなあに？」はこちらからご覧いただけます。



編集・発行/武蔵野市子ども家庭部 子ども子育て支援課
電話:60-1851
ファクス:51-9417
メール
sec-kodomokosodate@city.musashino.lg.jp